

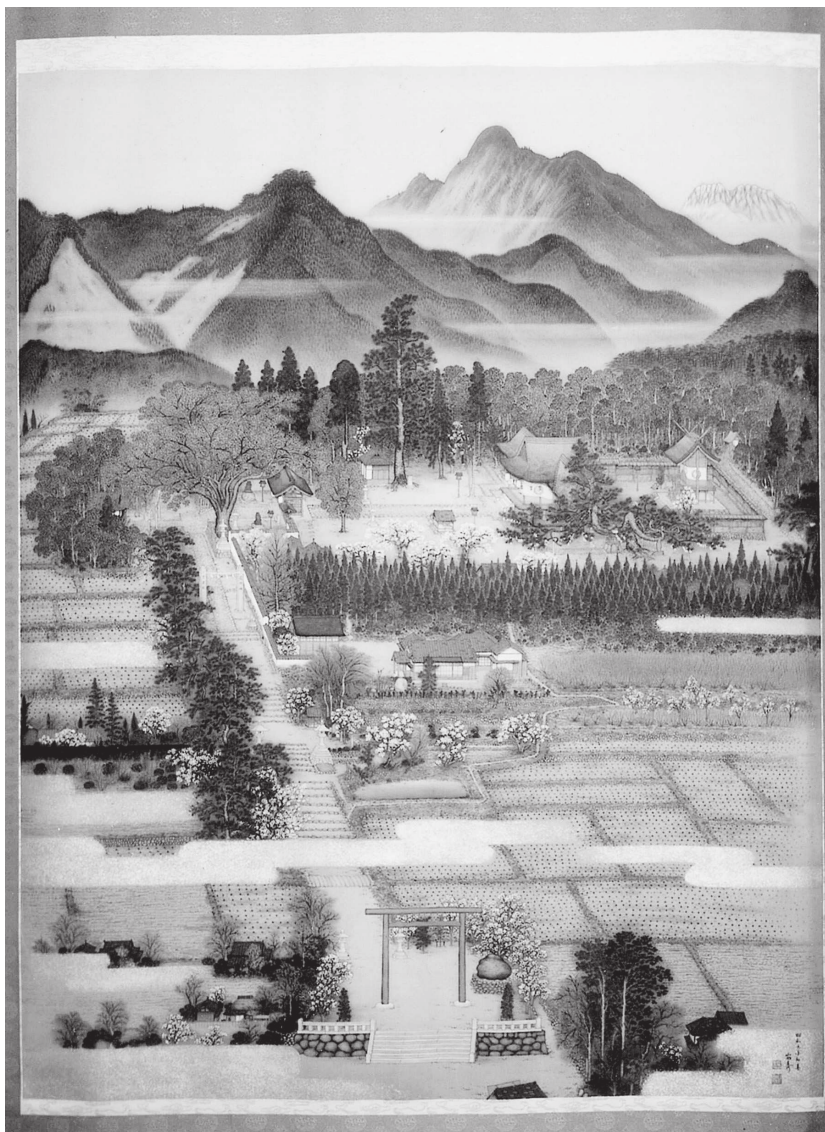
伊 曾 乃

題字は社宝伝崇徳天皇ご宸筆
勅額の文字を模したものです。

国家繁栄と皇室の弥栄、そして地域の平安と氏子崇敬者の幸せを祈る日々は、正に光陰矢の如し。平成29年の歳の初めのめでたさを皆様と共に分かち合い、こぞつてお祝い申し上げてから早くも半年が過ぎました。

平素は当伊曾乃神社にご崇敬賜りまして誠にありがとうございます。

当社は本年 御創祀一八八〇年の佳年を迎え、一昨年より白木秀典奉賛会長を中心に鋭意取り組んでまいりました記念奉賛事業は、昨秋、第一期工事の廻廊・祓所・待合殿が完成いたしました。今年の例大祭後には第二期工事として、いよいよ社務所の



伊曾乃大社鳥瞰図 (玉井安秀筆)

改築・増築に取掛かります。

顧みますに、当社は悠久の流れの中で、古代の御村別（みむらわけ）の一族、平安・鎌倉時代の武人新居一族など、数多の人々の崇敬を受けてまいりました。関白 羽柴秀吉（後の豊臣秀吉）による四国征伐では天正の陣の戦火に遭うも数年の後に再興され、江戸時代には西條藩主の手厚い庇護の下、民衆の熱い思いに支えられて大いに栄えます。しかし明治期に入ると西洋の文化や技術が流入し、人々の生活も意識も大きく変化しました。国を強く豊かにという当時の社会通念からはかけ離れ、この頃は社史の長い歴史の中でも窮した時代であっ

たようです。

この苦難の時代を乗り越えて現在の御神威を取り戻すきっかけとなったのは、何と云っても、昭和四年に大倉糸馬翁を中心に結成された奉賛会の設立といえるでしょう。

西条市出身の糸馬翁は大倉財閥を創立した大倉喜八郎男爵の娘婿で、後に大倉財閥の後継者となったお方ですが、この奉賛会には発起人として子爵松平頼和公、新幹線の父と呼ばれる十河信二元国鉄総裁、医聖と呼ばれる元日本内科学会真鍋嘉一郎会頭など二百二十名の郷土の錚々たる名士が名を連ねています。そしてこの時の奉賛事業により、御本殿から拝殿、社務所等に至る主たる建築物の建替え、また境内整備が行なわれました。新設の伊曾乃文庫には一万冊に及ぶ古文書等貴重な蔵書が集められ、更に宝物の蒐集、研究検証などに努められた結果、十年以上の長きに亘る活動は実を結び、昭和十五年、当社は遂に国幣中社に列格されるに至りました。

ただ今進行中である此度の奉賛事業もまた、こうした先人達の当社への畏敬尊崇の想いを引き継ぎ続かんとする多くの氏人に支えていただいております。第二期工事は、翌平成三十年に完成の予定です。

氏子崇敬者の皆様には衷心より感謝申し上げますと共に、今後も変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

先人の想いが集い、蝉しぐれ降りそそぐ伊曾乃の杜の夏です

氏子崇敬者皆様方のこの夏のご健康ご多幸をお祈り申し上げます。

宮司 堀川 修 巧

三、愛媛県外に出ているダンジリを訪ねる ③

いよ西条だんじり祭り編著者 村上 俊行

伊曾乃神社祭礼絵巻に描かれているだんじりで、現在無くなっている船だんじりについて各地の船ダンジリを訪ねてみる。

ダンジリ祭りの源は京都の祇園祭と言われていたが、ここでは船ダンジリ（船鉾）も出ているように各地のダンジリ祭りにも船ダンジリが出ている。この項ではその中の昇き船ダンジリについてまとめてみた。

愛媛県に出ている昇き船ダンジリは既に記したように、四国中央市寒川町と今治市大西町に見れる。

高知県室戸市羽根八幡神社の祭りには昇き船ダンジリの花台と船ダンジリが出ている。

岡山県倉敷市戸島神社の祭りには太鼓台（千歳楽）の他三台の昇き船ダンジリが出る。

和歌山県橋本市相賀八幡神社の祭りには曳きダンジリと昇きダンジリ、そして昇き船ダンジリが出る。

千葉県富津市金谷神社にも昇きダンジリが出ている。



倉敷の昇き船



室戸の昇き船



富津市昇き船



橋本市昇き船

表彰・感謝状 受賞者御芳名

年 番 表 彰

(神拝地区)

氏子総代	安永省一様
氏子総代	大澤勝幸様
徳永博久様	徳永博久様
矢野彰良・素近様	矢野彰良・素近様

鬼頭永年勤続表彰(二〇〇年)

顧問 川口義富様

鬼頭感謝状(二〇〇年)

副取締役 上田実様

感謝状

伊藤自動車株式会社 代表取締役

伊藤裕樹様

鬼頭委嘱状

白木秀典様
浅田延也様

奉納御礼

◎日明出身 高橋 萬起男様
油絵一点



御創祀一八八〇年の記念として、例大祭「宮出し」の場面を画かれた油絵の奉納を賜り、ひろく氏子の皆様にご覧いただけよう、会館ロビーに展示させて頂きました。

地元のご友人である奉賛会理事 伊藤勇様から氏神様の佳節をお聞きになられ、故郷の誇りである伊曾乃神社の例大祭を懐かしみ、僅か一か月程で製作されました。

油絵はご趣味ではじめられたそうですが、作品はその域を超えるものを感じ、臨場感に満ち溢れております。

ご奉納、誠にありがとうございました。

御奉仕御礼

すすはらい奉仕

敬神婦人会の皆様

正月前の境内清掃奉仕

神戸長寿会、神拝神友会の皆様

神門前大楠の大注連縄奉製

神戸長寿会の皆様

春祭前の境内清掃奉仕

神拝神友会、神戸長寿会、大町福寿会の皆様

春祭前会館清掃奉仕

敬神婦人会の皆様

春祭餅つき奉仕

神戸長寿会の皆様

春祭餅包み奉仕

明比徳子様ほか有志の皆様

下福古墳清掃奉仕

西條史談会有志の皆様

境内灯籠塗装奉仕

山田塗装工業所 有限会社 様

ご奉仕ありがとうございます。ご芳名を記し厚く御礼を申し上げます。

奉祝 御創祀一八八〇年 悠久の刻を伝えて

天正の陣の兵火を免れた貴重な宝物をはじめ、所蔵する史料をもとに一八八〇年の歩みをご紹介させていただきます。

伝 崇徳天皇御宸筆勅額

社伝によれば、崇徳天皇が讃岐國に御座在りし時に密かに御行幸なされて大町村天皇に行宮を御造営され、御参拝の折に奉納された勅額で、二の鳥居に懸げていたことにより、天正十三年七月の天正の陣での兵火に焼残ったといわれています。



牛王の版木

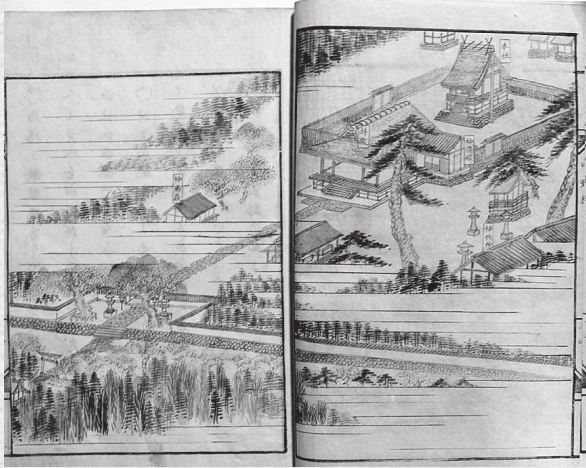
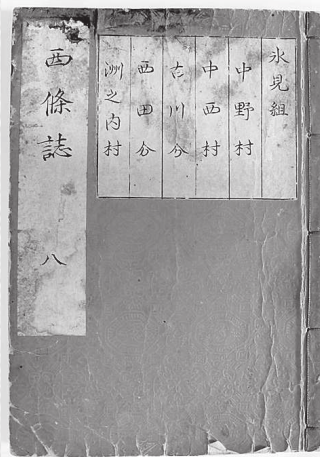
社伝では、天正の陣ののち、暇宮を再建する際に叢より拾い出したもので、この時すでに磨滅しており、極めて古いものであったといわれています。

* 牛王の版木は、領地の設定や不戦の確約などをする際に武將が用いるものですが、当代の対人契約に信用性は薄く、靈験あらたかな神仏を通じて契約することで、何れの武將が反故すれば天罰が下されると云う信仰が信用のもととなった印で、熊野大社などが有名です。



西 條 誌

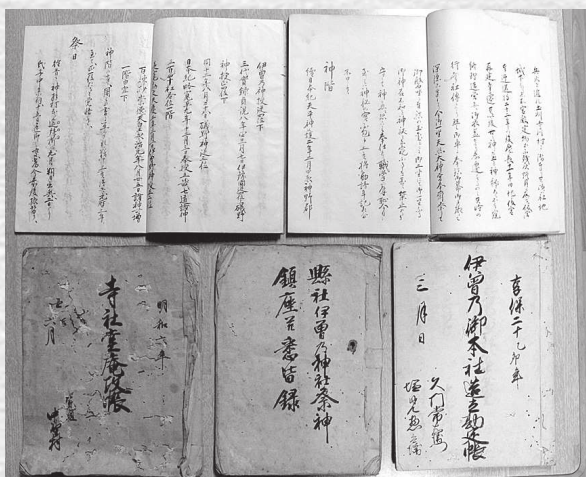
西條藩主 松平頼学の命により天保十三年、日野暖太郎和煦によって編纂されたもので、社殿は茅葺で本殿は神明造り、拝殿は入り蜻蛉造りであったことがわかります。



社寺惣改帳ほか

幕末から明治初頭にかけて当社の社殿造営や例大祭に関する記録のほか、御創祀以来の神階や社格なども記したものです。

延喜の制による式内社であることをはじめ、明治新政府による近代社格制度での社格についても記録されており、当社はこのとき、「第一縣社」の社格であったことがわかります。



鎮守今昔

く参道・神門く



旧第一鳥居から加茂川遠望
(昭和9年ころ)



現在の第一鳥居より加茂川遠望



社号石前付近
(昭和9年ころ)



現在の社号石前付近



神門前参道
(大正末期)



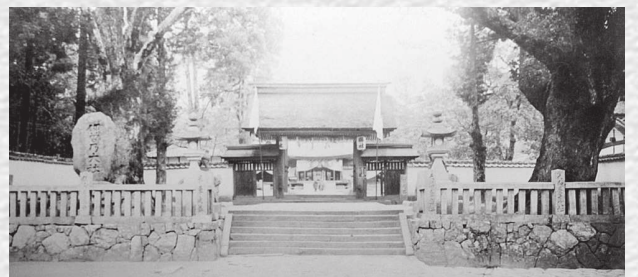
現在の神門前



旧神門
(大正末期)



作者
工学博士 初代狛犬(昭和3年)
文化勲章章 伊東 忠太
(号 紅雲)



旧神門
(昭和3年)



二代目狛犬
作者 大保木出身
日本芸術院賞章 伊藤 五百亀



茅葺神門
(昭和40年)

〈社務所・社殿〉



元藩主装束殿
(昭和14年)



旧本殿と旧拝殿
(昭和14年)



旧拝殿
(大正9年ごろ)



社殿建設工事
(昭和15年)

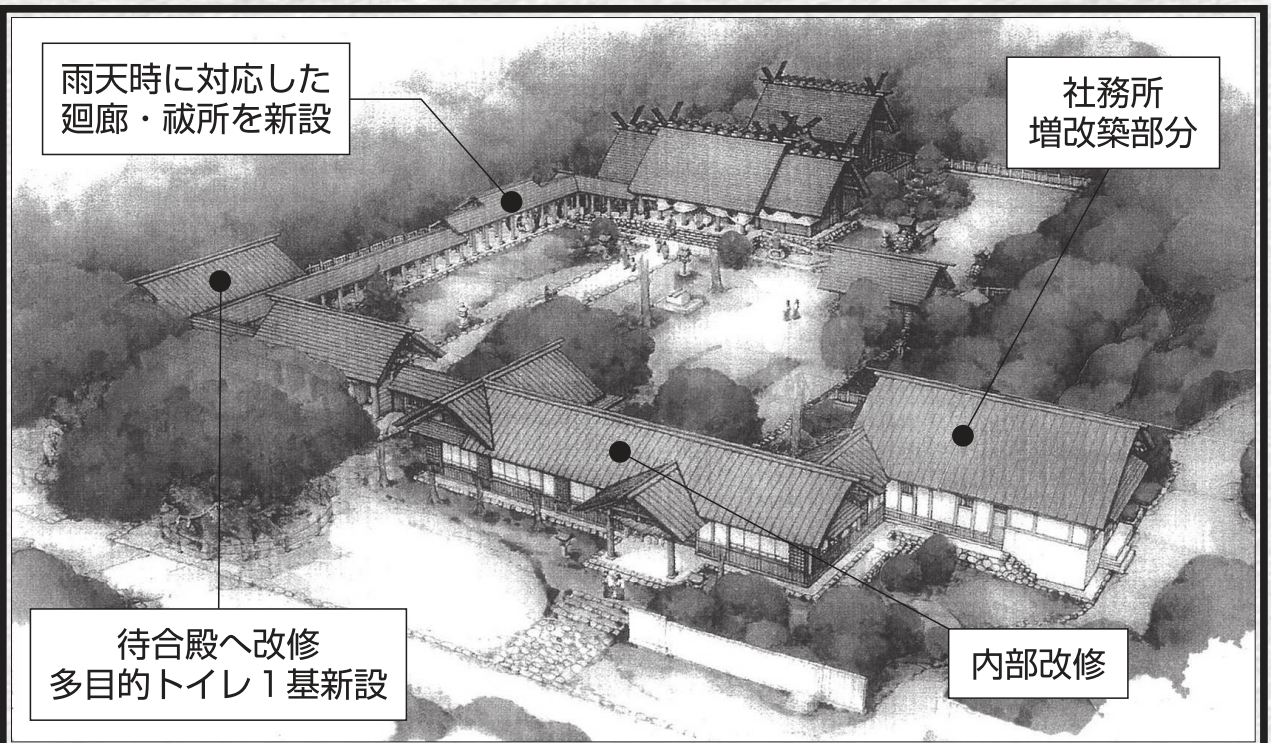


社殿改築地鎮祭
(昭和15年)



社務所建設工事

御創祀一八八〇年(平成二十九年)記念事業奉賛会ご寄付のお願い



待合殿・廻廊・社務所増改築完成予想図

事業概要

- 一、待合殿・廻廊建設
授与所を待合殿に改修し、多目的トイレを1基増設します。
また、廻廊を新設し、祓所を併設致します。
- 二、社務所増改築
社務所内部の改修と、部分的な増改築を致します。
- 三、その他関連工事

概算費用

- 一、外部(土木・外構)関係工事 一〇〇〇万円
- 二、待合殿・廻廊建設工事 三〇〇〇万円
- 三、社務所増改築工事 六〇〇〇万円
- 四、建設工事関係諸経費 一〇〇〇万円
- 五、関連費用 四〇〇〇万円
- 合計 一億五〇〇〇万円

氏子総代様・お世話人様を中心に、奉賛活動をお願い致しております。

この奉賛事業にご理解とお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

伊曾乃神社御創祀一八八〇年記念事業奉賛会

事務局(伊曾乃会館内)

(九時～十五時 平日休みあり)

電話 〇八九七(四七)七六九〇

社務所

電話 〇八九七(五五)二二四二

会長

白木 秀典

副会長(総務担当)

明比 幹夫

副会長(財務担当)

小野 昭雄

副会長(財務担当)

三浦 仁

副会長(財務担当)

戸田孝一郎

副会長(建設担当)

矢野 幸雄

副会長(建設担当)

木藤 清

理事

安藤 勝俊

尾野 和夫

伊藤 勇

伊藤 道雄

松本 一夫

黒川 清美

安永 省一

大澤 勝幸

西山 多一

高瀬 康雄

渡邊 博毅

日野 信二

加藤 武司

矢野 胤勝

近藤 清政

一色 鉄馬

宮司

堀川 修巧

奉賛会現状報告

待合殿備品整備



昨年十月に完成した待合殿内に、待合コーナーと湯茶コーナーを設け、使用する机は境内の杉材を有効に利用しようと、役員

会で協議して製作しました。
また、参拝者用椅子は恒例祭典にも利用可能なものと致しました。



境内杉材を用いた机



祭典対応の「胡床」

お知らせ

日頃より、奉賛会活動にご理解とご協力を賜り、洵にありがとうございます。

さて、平成二十九年五月の奉賛会理事会において、役員二名の変更がございましたのでお知らせ致します。

現在、第2期工事である社務所増改築工事に向けて協議並びに準備を進めているところですので、引き続き皆様方からの温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

記

副会長 三浦 仁

建設担当 ↓ 財務担当

理事 木藤 清

副会長 (建設担当)



湯茶コーナー

境内整備の状況

昨年十二月には境内南側境界付近の社叢林を、本年三月には回廊と社殿周辺の社叢林を夫々整備して戴きました。高所作業をはじめ、清掃作業にご奉仕を戴きありがとうございます。



近年多発する大型台風の襲来や、大雨等による倒木の被害が心配されていたため、安全対策ともなりました。

大楠樹勢回復作業

当社の象徴

とも云うべき神門前の大楠が、経年の土壤填圧によって衰弱化し、危機的な状況であることが数年前、樹木医の診断によって判明し、五月十三日に多数のご奉仕を賜り、樹根の伸長を促進させるための土



壤改良工事を行いました。

例大祭前ま

でを目前に、現状保存を行います。ご参拝の皆様にはご不便をおかけ致しますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

奉仕作業者ご芳名 (順不同)

- 伊藤 勇 様
- 浅田 秀隆 様
- 日野 信二 様
- 森 光義 様
- 森 光志 様
- 加藤 武司 様
- 矢野 彰良 様
- 矢野 素近 様
- 大澤 勝幸 様
- 安永 省一 様
- 西垣 一 様
- 村上 文治 様
- 三浦 仁 様
- 伊藤 哲義 様
- 浅田 尚夫 様
- 河野 一 様
- 井上 博司 様
- 高橋 稔 様
- 伊曾乃氏子神拝会 様
- 明比 幹夫 様
- 尾野 和夫 様

ほか有志の皆様

いつもありがとうございます。今後ともご助勢をよろしくお願い申し上げます。

社頭 点描

お正月

天候もよく、多くの参拝者で賑わい、恒例の田宮流居合術と荒川獅子舞の奉納がございました。

左義長神事（とうとさん）

一月十五日、初詣で納められた古札やメ飾りをお焚き上げしました。

参列された方には、みかんの振る舞いがございました。

初天神・筆供養

一月二十五日、多くの方々から古筆をご奉納下さり盛大に執り行われ、境内では敬神婦人会の皆様により甘酒の振る舞いがありました。



紀元祭

建国記念の日、橿原神宮遥拝と皇居遥拝に続き祭典を行い、午後から建国記念の日奉祝大会に参加致しました。

祈年祭

二月十七日、本年も立正佼成会蓮華雅楽会のご協力を賜り、雅楽の奏でる社殿において厳かに斎行致しました。

氏子総代会

三月十八日、伊曾乃会館で行われた総会では、決算報告のほか任期満了に伴う常務総代（責任役員）の選出がなされました。



下福古墳清掃

三月二十八日、西條史談会有志による清掃奉仕を賜りました。

この古墳は江戸時代に発見されたもので、古くから当社周辺は生活拠点として栄えていたことが分かる遺構で、大切に保存されています。

崇敬者大祭

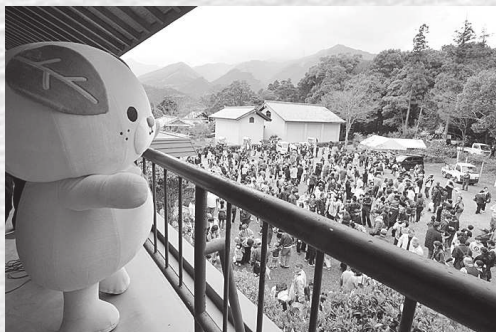
四月二十九日の昭和の日、昭和祭に併せて大祭を斎行しました。本年は新居浜市在住の篠笛奏者阿部一成氏による奉納吹奏が行われました。

菖蒲祭

五月五日のこどもの日、敬神婦人会の祭典奉仕のもと執り行われました。祭典後は終日、「菖蒲湯」でお使いいただき、葉菖蒲と蓬をお配りしました。



開運春祭 盛大に高行



四月二日、恒例の開運春祭が晴天のもと盛大に斎行することができました。午前九時から祭典では奉茶奉炭に続き献謡が行われ、また、会館前の茶筍塚では、淡交会西条支部の皆様に加え、県立小松高校の皆さんもご参列され、茶筍供養を執り行いました。さらに本年は愛媛県で国民体育大会と障がい者スポーツ大会が開催されることもあり、

愛媛県イメーリアップキャラクターのみきゃんも登場し、参拝に訪れた多くの方を楽しませてくれました。

開運春祭 ご協賛者様ご芳名 (順不同)

- 神戸地区
 - 釜之口 三浦商店 様
 - 中之段 なか屋とうふ店 様
- 大町地区
 - 福森町 有限会社 真成堂
 - セリ薬局 様
- 常心 IRO髪 様
- 小川 シヤデイ石野 様
- 川原町 菓舗森川屋 様
- 登道 ハルキフオート 様
- 登道 ピュークラブ 様
- 広見町 筒井商店 様
- 神拝地区
 - 上神拝 株式会社 大阪屋 様
 - 栄町 株式会社 明治屋 様
 - 紺屋町 有限会社 高瀬時計店 様
- 西条地区
 - 東町 株式会社 マルジウ洋品店 様
 - 東町 ことぶき寝具店 様
 - 八千代巷 キング・ビスケット 様
 - 御舟町 四国海苔 株式会社 様
 - 新堀 アラモードながわ 様
 - 新堀 アラモードながわ 様
 - 壬生川地区 高倉スポーツ 様
 - 小松地区 株式会社 書友閣 様
 - 水見地区 石鎚酒造 株式会社 様
 - 東温市 株式会社 アスト 様

敬神婦人会通信



伊曾乃神社敬神婦人会に対して、いつもご支援・ご協力をいただき、ありがとうございます。会長以下役員会員一同、皆様方のご支援あつて活動ができますことを、心より感謝いたしております。

平成29年のお正月を迎えるにあたり、敬神婦人会として、伊曾乃神社の為に何ができるのかと考え、12月13日の「すすはらい神事」のお手伝いをさせていただきました。初詣に来た時、境内の掃除が行き届いていたら、きつと参拝者の方々も気持ちよくお参りができるだろうと思いつきながら、会員一同で、社殿・境内の清掃を行いました。

普段あまり立ち入る事のできない神域を清掃するにあたり、神様のお手伝いできて、ありがたい気持ちになりました。すすはらい神事が、敬神婦人会としてよい活動になったと感じ、平成29年も元気に過ごすことができると実感をいたしました。1月25日の初天神祭・筆供養の時には、昨年同様、参拝者の方々に甘酒のふるまいをいたしました。

婦人会特製の甘酒は、子供からお年寄りまで、またお酒が苦手の方やドライバーの方にも安心して飲むことができます。麴から作るノンアルコールの甘酒です。

「昨年、神社でいただいた甘酒がとても美味しかったから、また今年もお参りにきました」というとても嬉しいお言葉もいただきました。当日はお天気もよく、神事には、書道愛好家や氏子の方々も参列し、古い筆に感謝をしながら、お焚き上げの筆を見ながら、甘酒を飲んで温まりました。

2月11日の紀元祭では、祭典終了後に、小豆粥のふるまいを行いました。手作りの小豆粥は参拝者にとっても好評でした。温かいお粥を食べて、参拝者の皆様に温まっていたできました。

また、敬神婦人会手作りの梅干しを、初天神・筆供養祭と、紀元祭で販売いたしました。敬神婦人会手作りの梅干しは、たくさんの方々にご認知していただき、一度にたくさん購入される方も多くおられました。伊曾乃神社天満宮の梅をつかった梅干しという事もあり、学業成就を願い、子供さんが食べるといってお話もいただきました。梅干しは、これからも手作りをしていく予定です。

5月5日の子供の日の菖蒲祭には、昨年同様、祭典のお手伝いをさせていただきました。

神様に神饌(お供えもの)を運ぶというとても大切な役を行う事になり、緊張感が漂う中、お供えをし、神様の為にできたという充実感を感じつつ、日々を健康に過ごせるといふ事に感謝の気持ちをもつことができました。

敬神婦人会も3年目を迎え、神社神道についての知識や経験を重ねていき、より魅力のある会にしていきたいと考えております。氏子の皆様方の協力なしでは、何もできません。敬神婦人会に対して、これからもご指導・ご協力・ご支援を宜しくお願いいたします。



屋台・みこし関係者の 皆様へお知らせいたします

平成二十九年の年番は西条地区です。

本年は、西条地区（常務総代 戸田 孝一郎氏）です。宜しくお願い致します。

だんじり・みこし 奉納願

七月中旬頃より、順次各町内の氏子総代様へ郵送致しますので、内容をよく確認され、期限内に提出して下さい。

なお、氏子総代様は運行責任者（総取締）へお渡し戴きますよう、お願い申し上げます。

提出期限 八月三十一日（当日消印有効）

記載内容 次のとおり

- 一、正確な「だんじり」または、「みこし」の名称
- 二、責任者の「住所」、「氏名」および、「捺印」
- 三、提出年月日または、投函年月日

留意事項

- 一、記載漏れや期限外提出は、受付できません。
- 二、氏子総代会ほか、関係機関へ資料として用います。

三、「だんじり」、「みこし」の名称は例年どおりとして下さい。（提出後、変更はできません。）

* 提出書類は原本記載のまま、「氏子総代会」へ資料提出します。

また、未提出にあっても公表しておりますので、充分ご留意下さい。

鬼頭・屋台総代総会

奉納願に記載されております運行責任者へ後日、案内状を郵送致しますのでご確認下さい。

日 時 九月十日（日）

午後六時三〇分受付開始

午後七時〇〇分受付終了、開会

会 場 西条市総合文化会館 小ホール

* 当日は遅延することないよう、時間厳守でお集まり下さい。

事 始 式



つぎのとおり斎行しますので、だんじり・みこしの責任者の方は揃いの装束でご参加ください。

なお、祭典終了後に鬼頭会より、番号札引換木札と昇夫番号札をお渡しします。

日 時 十月七日（土）

午後二時、午後三時

神輿の本肩を募集しております！

募集の条件は次のとおりです。

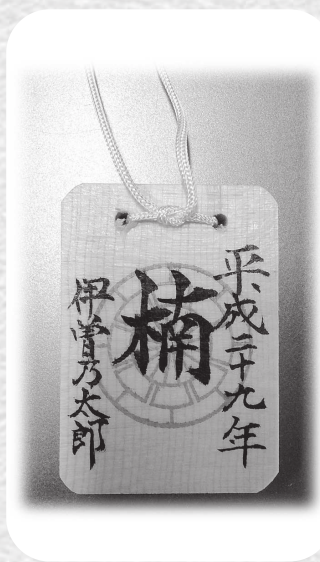
- 一、全行程徒歩で奉仕が可能な方
- 一、二日間又はいずれかでも参加出来る方
- 一、健康で神輿を昇ける方

◎お問合せ先……社務所

（後日、年番より詳細をお伝えします）

昇夫守り

屋台・みこしの昇夫が身につけるお守りです。ご希望の方は、次の要領でお申し込みください。



名前入り

- 電話申込不可（専用の申込用紙記載に限る）
- 受付期間 七月一日～九月十日
- 初穂料 一体 八〇〇円
- *お守りですので、「愛称」や「姓」のみ、「名」のみは受付しません。

名前なし

- 電話申込可（専用の申込用紙記載併用）
- 受付期間 七月一日～十月十五日
- 初穂料 一体 五〇〇円

共通事項

- 窓口受付は、午前九時～午後四時までです。（電話問い合わせも同様）
- 頒布開始は、十月一日正午より行います。
- 奉製作業に数週間程度を要します。お早めにお申し込みください。
- 追加のお申し込みの場合も、全体の申し込み順で奉製します。
- 申込用紙はホームページからダウンロードできます。

祭事暦

(平成)二十九年六月
〜平成二十九年十一月

六月	一日	朔日祭	午前九時
	十五日	古神札焼納祭	午前八時三十分
		月次祭	午前九時
七月	三十日	大祓式	午後五時
	一日	朔日祭	午前九時
	十五日	月次祭	午前九時
八月	一日	朔日祭	午前九時
	六日	夏越祭	夕刻
	十五日	月次祭	午前九時
	十七日	瑞枝神社例祭	午前八時
九月	上旬	秋季氏子総代会	午前九時
	十日	鬼頭・屋台総代總會	午後七時
	十五日	月次祭	午前九時
	二十二日	秋季皇霊祭遙拝式	午前九時
		物故神職慰霊祭	午後二時
十月	一日	朔日祭 並 昇夫守入魂祭	午前十時
	七日	事始式	午後二時・午後三時
	十四日	宵宮祭	午後五時
	十五日	例大祭	午前四時三十分
		神幸祭	終日
	十六日	御旅所祭	午前四時五十分
		神幸祭	終日
		還御祭	午後六時
		神嘗奉祝祭	午前九時
十一月	一日	朔日祭	午前十時
	三日	明治祭	午前九時
	十五日	月次祭 並 七五三祈請祭	午前九時
	二十三日	新嘗祭	午前九時

本年は 8月6日(日)です



夏越祭

旧暦六月十五日

ご あ ん な い

● 場所 加茂川橋下流 右岸(加茂町)

● 時刻 午後六時ころより午後九時ころまで

*当日は、以下の内容で信号煙火を打ち上げます。

- 祭典実施報知 午前八時ころ
- 御神輿本社発 午後五時ころ
- 御神輿斎場着 午後六時ころ

信号煙火のほか、祭典中に数発程度の花火を打ち上げます。



新嘗祭 並 大麻頒布始祭

● 祭典 十一月二十三日(木) 勤労感謝の日

● 時間 午前九時より

本年も新嘗祭に併せ、新しい神宮大麻(伊勢の神宮)と神社大麻(伊曾乃神社)の頒布を行います。氏子総代様にはご足労をおかけしますが、ご参列を賜りますよう、お願い申し上げます。

授与品の紹介



「みきちゃん守り」
初穂料 八〇〇円

愛媛県で国体がもうすぐ開催されます。西条市でも競技が行われ、たくさんの方が西条を訪れることでしょう。

愛媛県イメージアップキャラクター「みきちゃん」と「だんじり」が一緒になったお守りを授与しております。

みきちゃん守りを受けて、えがおでえひめ国体を応援しましょう!!



お知らせ

三月十八日に行いました氏子総代会において、常務総代(責任役員)の改選が審議され、各地区から次の方々が就任されましたのでご報告致します。なお、任期は神社規則により四年間となっております。



神戸地区選出 (重任)
明比幹夫氏



神拝地区選出 (重任)
三浦仁氏



西条地区選出 (重任)
戸田孝一郎氏



玉津地区選出 (重任)
矢野幸雄氏



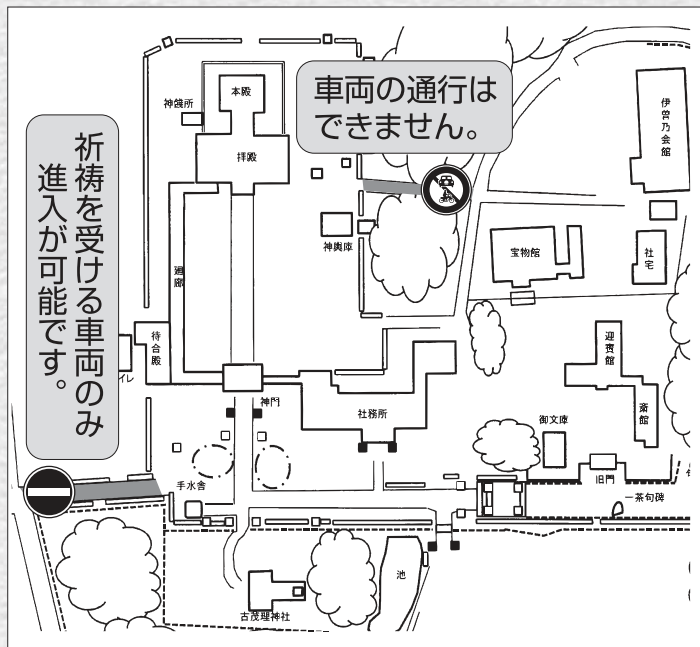
大町地区選出 (新任)
木藤清氏

就任年月日

平成二十九年四月一日にて届出。

車両通行制限について

境内の消防設備、下水道設備と参道の損壊防止に加え、境内林の保全のため、車両の通行制限を行っております。ご協力をよろしくお願いいたします。



◎車両は二輪車も含みます。

発行

伊曾乃神社社務所
〒793-0054 西条市中野甲一六四九
電話 〇八九七・五五・二一四二
FAX 〇八九七・五六・四七六二
HP <http://www.isonoinja.or.jp/>
写真協力 ハルキフオート